

検	代表取締役	専務取締役	統括運行管理者
印			

2022（令和4）年度 安全報告書

■年間の総括と次年度の目標

今年度の事故件数は本社営業所で貸切5件乗合6件の車両事故、三沢営業所で貸切2件社用車1件の車両事故、合計14件であった。例年豪雪になる厳冬期に比較的雪が少なかった影響もあり、昨年から微減（2件減）した。一方的に追突された当社無過失のもの他、飛び石による破損など不可抗力のもの、雪壁との接触による自損など軽微なものが多いが、中にはシフトをパーキングに入れ忘れ自動発車しての追突事故など重大な不注意に起因するものがあり、再発防止に努めなくてはならない。また、今年度も駐車場内での後退時の接触は無くならない。安全目標の中にもバック時の事故には気をつけるよう継続して重点を置いているが、改めて実技教習の方法など取組の仕方を検討したい。より一層の安全意識を徹底し、次年度は重大事故はもちろん人身事故、有責事故ともにゼロの目標を達成したい。

前年に適齢診断の遅れから不認可になり星を失った貸切バス安全性評価認定は今年度の申請で一つ星に復帰することができた。3つ星復帰までは長い時間を要するが、今後も一層コンプライアンス遵守に取り組んでいきたい。

ここ数年にわたって従業員の健康管理の徹底を重点施策として取り組んできたが、前年に引き続きインフルエンザワクチンの接種費用の助成を実施した。従

業員の感染症防止の意識も高まってきて前年に比べてもワクチン接種率が向上した。人員不足、高齢化の状況下、健康管理の徹底については引き続き成果を求めている。

近年引き続いての懸案である帰庫点呼でのデジタコによる法定速度超過のチェックは、総数は減少しているものの1～2キロのわずかな速度超過は年間を通じるとまだ多数にのぼる。より一層の安全意識をもって次年度の速度超過ゼロの目標達成を目指したい。

令和5年3月31日

安全統括管理者 木村 英之 

1. 輸送の安全に関する基本的な方針

青森観光バス株式会社は、輸送の安全の確保が自動車運送事業者の社会的使命と深く認識し、全社員に輸送の安全の確保が最も重要であるという認識の徹底をはかるようにいたします。さらに、「最も優先されるのはお客様の安全である」を根幹とし、三協グループの企業理念において「安全の確保」を第一の使命と徹底しております。また、お客様からの信頼に応え、社会的責務を果たして参ります。

1. 安全を何より最優先する組織・社風の構築
2. 安全マネジメント体制の確立と継続的改善等の実施
3. 安全を支える従業員の能力向上と健康の確保
4. お客様の安全を第一に考えた輸送とサービス・マナーの提供
5. 安全輸送に関する関係法令等の遵守
6. 安全輸送に関する情報の積極的な公表の実施
7. 効果的・効率的でゆとりある業務環境の実現（働き方改革）

以上の方針に基づき、「安全の確保」に向けた不断の努力を重ねて参ります。

2. 輸送の安全に関する目標および当該目標の達成状況

1. 輸送の安全に関する目標

- ① 有責事故件数 2022 年度 ゼロ
- ② 有責重大事故 2022 年度 ゼロ
- ③ 法定速度超過 ゼロ
- ④ 無事故継続日数目標 365 日

上記を目標とし、達成のために事業所ごとの点呼所に目標を掲示し、点呼の際に管理者と共に毎回確認する。事業所内にも掲示し、全社員で確認し続けると共に、来社されるお客様にも公表することで全社員の責務向上の励みとする。

2. 目標の達成状況

上記に掲げた 2022 年度の輸送の安全に関する目標の達成状況は以下の通り

- ① 有責事故件数 ゼロ → 有責事故 12 件他責事故 2 件 未達成
- ② 有責重大事故 ゼロ → 重大事故無く目標達成
- ③ 法定速度超過 ゼロ → 法定速度のわずかな超過が多数あり未達成
- ④ 無事故継続日数目標 365 日 → 未達成（事故 14 件）

3. 事故に関する統計

事故件数（令和４年度）

事故種別	件数
重大事故	0 件 前年度比 増減無
車両人身事故	0 件 前年度比 増減無
車内人身事故	0 件 前年度比 増減無
車両物損事故 (社用車・除雪作業者等を含む)	有責軽微事故 12 件 前年度比 4 件減
	他責軽微事故 2 件 前年度比 2 件増

※自動車事故報告規則第 2 条に基づく件数です。

(全件数であり乗合車両や社用車等の事故も含んでいます)

4. 2023 年度安全費予算

輸送の安全の確保のため次年度は以下のとおり安全費を計上する。

2023 年度の予算計画における輸送の安全に関する予算額（安全費）

項目	本社営業所	三沢営業所
脳ドック受診	200,000	50,000
SAS フォローアップ費用	300,000	150,000
研修・教育費 教材費	200,000	100,000
感染症防疫費	200,000	100,000
運行管理・安全管理用 P C	300,000	100,000
大型モニター	100,000	
インバウンド対策費用	200,000	
予備費	700,000	300,000
小計	2,200,000	800,000
合計	3,000,000	